

ユニオンファンド 月次レポート

第 152 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2021年7月6日作成

MONTHLY TOPIC

最近のセミナー雑感

ほんの1年半ほど前まで、「ウイルス対策」と言えば、ほぼ「コンピューターがウイルスにやられないようにすること」を指していたように思います。コンピューターに侵入し、内部で増殖したりプログラムを書き換えたりして害を及ぼすだけでなく、他のコンピューターに拡散する力を持っているところなど、本物のウイルスとそっくりです。「コンピューター・ウイルス」とは実にうまい命名だと改めて感心しています。

そして今、「コンピューターを使ってウイルスにやられないようにすること」が、現実の世界での重要なウイルス対策の一つになっています。先日は弊社の株主総会もネットを併用して開催しましたし、セミナーも、完全停止状態のリアルに代わってネットを利用したセミナー（以下「WEBセミナー」）を増やしているところです。

「多くの方に参加いただけるメリット」と「顔が見えないデメリット」

よく言われることですが、WEBセミナーには多くの方に参加いただけるという利点があります。お住まいが遠方でリアルセミナーに参加しにくかった方にとって、WEBセミナーは大きな魅力だと思います。

反面、デメリットとして、「顔が見えないこと」がしばしば挙げられます。通常、参加者の映像を消しているため、こちらの言いたいことが伝わっているのかいないのかが、とてもわかりにくいです。リアルセミナーでは、参加者が醸し出すそこはかかない雰囲気というものがあまして、「ここ、わかりにくそうだな」と感じることもよくあります。そうした時には補足することもできるのですが、WEBセミナーでは困難です。

とてもありがたい質問や書き込み

リアルセミナーでは、話し手への遠慮や気遣いもあり、途中退出にはそれなりに勇気がいりますが、WEBセミナーは簡単です。仮名で登録できますし、顔も見えませんから、聴くのが嫌になったらいつでもクリック一つで退出できます。この退出具合から参加者の反応をある程度想像することができます。先日、スパークスの平野さんをお招きしたセミナーでは、質疑応答が長引き予定時間を超過しても、多くの方が残ってくださいました。おそらく役に立つ話ができただろうと推測しており、ぜひ今後に生かしていきたいと思っています。

また、弊社が利用しているZoomにはチャットコーナーがあり、ここへの書き込みも大変ありがたいです。セミナーではどうしても小難しい話が出ますが、知っていただきたいのでお話ししています。もしわかりにくかったら「もう一回説明して」でも十分ですので、質問・感想等をお書きいただくと幸いです。リアルですと、他の参加者に顔を見られるから恥ずかしいということもあるでしょうが、チャットなら大丈夫です。WEBセミナーならではの利点を生かし、今後も開催を続けますので、気軽にご参加・コメントをよろしくお願いたします。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2021年6月末現在)

基準価額

30,832 円

純資産総額

97 億 62 百万円

期間別騰落率(%)

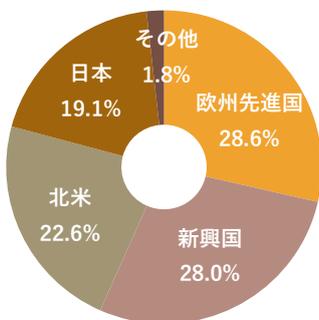
1 ヶ月	0.33%
1 年	34.66%
3 年	28.93%
5 年	67.96%
10 年	130.52%
設定来	208.32%

複利年率(%)

9.27%

*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比

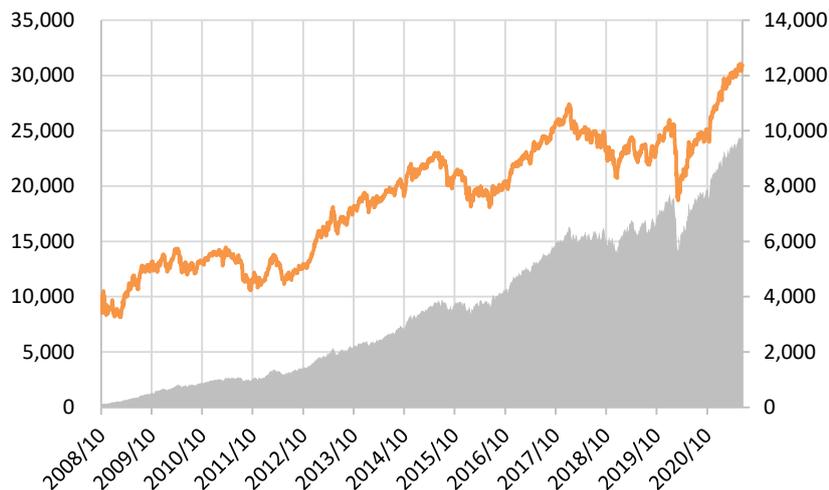


投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2021年5月末現在)

基準価額と純資産総額の推移

基準価額 (円)

純資産総額 (百万円)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.3%	0.9%
スパークス F	日本	11.0%	1.1%
キャピタル F	欧米	17.3%	0.9%
ハリス F	欧米	19.1%	-1.3%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	10.5%	2.6%
コムジェスト・エマージング F	新興国	24.3%	0.3%
現金等	-	12.5%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2021年6月の市場動向と運用状況

投資環境

世界の株価は全般に堅調な動きでした。米国では景気は引き続き拡大中ですが、一部に予想を下回る指標もありました。過熱感がやや冷めインフレ懸念が落ち着いたことが株価にはプラスとなりました。

中旬には株価が下落する場面もありました。米国の金融当局がこれまでの想定より早めの利上げに傾いたことが示されたためです。もっとも、連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長などから、雇用の回復が不十分であることや、インフレの加速が一時的であると見られることを理由に、金融引き締めへの転換を急がないとの発言が伝わると、長期金利は反落し、株価は反発しました。

欧州市場は、新型コロナウイルス感染症がワクチン接種の効果などで減少してきたため、景気全般、特にサービスセクターの回復が顕著となり、株価も上昇しました。ただ、米国の利上げ見通しの前倒しによってドルが買われユーロが売られたため、円換算すると小幅な上昇にとどまりました。また、新興国は前月が弱かった反動で上昇しました。日本はコロナ感染の再拡大などから株価は鈍い動きとなりました。

運用の状況

ユニオンファンドは、組入上位ファンドが低調だったことから、ほぼ横ばいにとどまりました。ハリスFは、成長株への資金還流が逆風となって値下がりし、コムジェストEMFも小幅な値上がりにとどまりました。当月は売買を見送り、月末時点の組入比率は前月末とほぼ同程度の87.5%でした。

今後の見通し

景気と企業業績はしばらく好調が続くそうです。企業業績が好調である限り株価は崩れにくく、万一大幅下落となっても早期に回復すると思われます。他方、米国の金融政策は正常化に向かっていくでしょう。コロナ禍を機に拡大したFRBの資産購入（量的緩和）は年内にも購入額の削減がアナウンスされ、利上げについても来年から始まる可能性が増しています。こうして超の付く金融緩和が終わりを迎えれば、景気の拡大が鈍化する可能性が高まります。景気・企業業績の拡大は株価にとってプラス要因で、金利の上昇はマイナス要因ですが、この二つの要素の綱引きは、株価にとってやや不利な状況に向かいつつあると見ています。

株価水準にも留意が必要でしょう。米国では、リーマンショック前の業績のピークに比べ、株価は3倍近くになりましたが、業績（1株当たり利益）は2倍でしかありません。業績がこの先さらに拡大するとしても、そのことは株価にかなり反映されていることがうかがえます。P2の地域別構成比に掲げているとおり、ユニオンファンドは北米株式の比率を低めにしていますが、これは米国株が相対的に上がりにくくなるとの考えを反映したものです。

ここ数か月、ユニオンファンドの基準価額はやや冴えない状態が続いていますが、これは市場の割合に比べて多めに組み入れている日本と新興国の株価が米国に比べ弱いことが一因です。しかし、割高と見られるとき（あるいは市場）は比率を低めにして次の買いチャンスを待つとの方針は維持する考えです。引き続き余裕金を若干多めに持って、投資機会を探っていく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

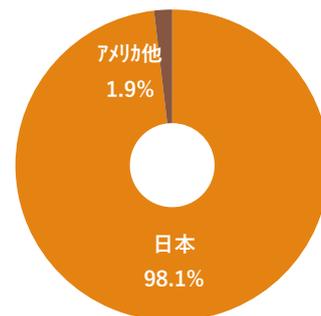
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	6.5%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ダイキン工業	4.5%	日本	機械	エアコン世界首位
3 信越化学工業	4.2%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
4 浜松ホトニクス	4.2%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
5 ブリヂストン	4.1%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
6 テルモ	3.8%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
7 TOTO	3.1%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
8 トヨタ自動車	3.0%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
9 花王	2.9%	日本	化学	トイレット紙首位
10 デンソー	2.4%	日本	輸送用機器	世界的自動車部品メーカー
上位10銘柄	38.6%		現金等	6.4%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2021年6月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



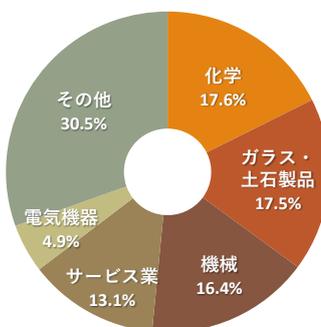
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケア		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミックス基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
竹内製作所		日本	機械	小型建設機械
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
バイカレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
現金等				5.0%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2021年5月末現在 >

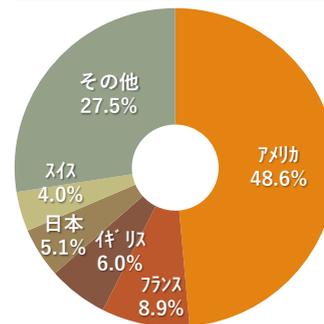
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC	2.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 ASML	2.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 Broadcom	1.8%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
4 AIA	1.7%	香港	金融	生保・金融サービス
5 Microsoft	1.6%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
6 Safran	1.6%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
7 Visa	1.5%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
8 UnitedHealth	1.5%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
9 AstraZeneca	1.4%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
10 Apple	1.3%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
上位10銘柄	16.7%	現金等	5.3%	

業種別構成比



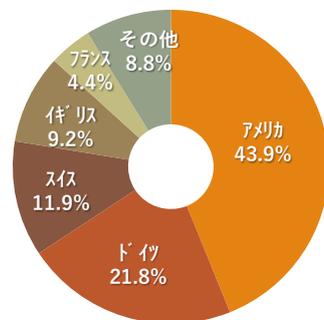
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年5月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



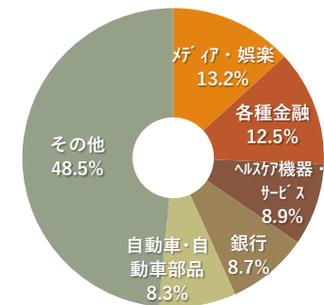
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	5.4%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 DAIMLER	4.3%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
3 BAYER	4.3%	ドイツ	医薬品・バイオ	大手化学医薬品メーカー
4 BNP PARIBAS	4.3%	フランス	銀行	フランス大手銀行
5 ALLIANZ	4.1%	ドイツ	保険	総合保険大手
6 CREDIT SUISSE	4.0%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
7 BERKSHIRE HATHAWAY	3.8%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
8 GLENCORE	3.7%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
9 CNH INDUSTRIAL	3.2%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
10 KEURIG DR PEPPER	3.2%	アメリカ	食品・飲料・タバコ	清涼飲料メーカー
上位10銘柄	40.0%	現金等	3.3%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年5月末現在>

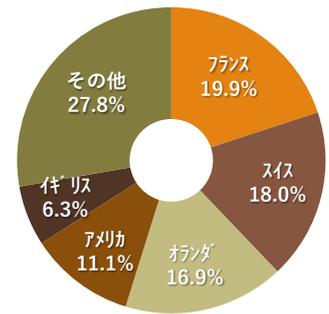
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジエスト・ヨーロッパF (コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



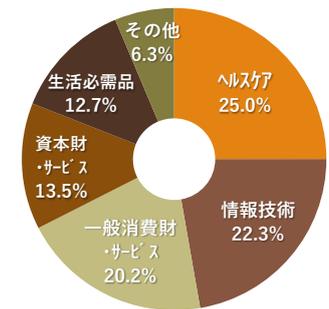
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	7.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 ROCHE	4.3%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
3 NOVO NORDISK	4.0%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
4 LINDE	3.8%	アメリカ	素材	産業ガス世界大手
5 LVMH	3.6%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
6 ICON	3.5%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品開発受託
7 ACCENTURE	3.5%	アメリカ	情報技術	総合コンサルティング会社
8 ESSILORLUXOTTICA	3.3%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
9 EXPERIAN	3.3%	イギリス	資本財・サービス	データベース・分析ツールの提供
10 INDITEX	3.0%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
上位10銘柄	39.8%	現金等	2.9%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年6月末現在>

コムジエスト・エマージングF (コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



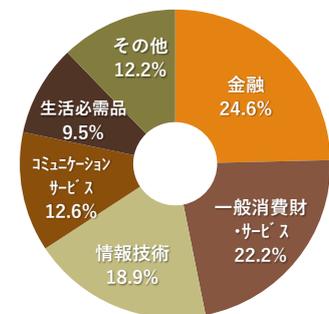
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 SAMSUNG ELECTRONICS	7.2%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
2 ALIBABA	6.2%	中国	一般消費財・サービス	電子商取引サイト
3 HOUSING DEVELOP. FINANCE	5.3%	インド	金融	最大手の住宅開発金融会社
4 NASPERS	5.0%	南アフリカ	一般消費財・サービス	メディア。中国TENCENTの大株主
5 PING AN INSURANCE	4.9%	中国	金融	保険大手
6 TSMC ADR	4.8%	台湾	情報技術	半導体メーカー
7 SANLAM	3.7%	南アフリカ	金融	アフリカの保険大手
8 NC SOFT	3.7%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
9 MARUTI SUZUKI	3.5%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
10 FOMENTO ECONOMICO	3.4%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
上位10銘柄	47.7%	現金等	1.6%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年6月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

目論見書の改訂について

2021年6月30日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたしました。

【今回の主な改訂箇所】

1. 委託会社情報の更新
2. 運用実績情報の更新

※ 新たな交付目論見書、請求目論見書は、弊社ホームページに掲載しています。

※ 今回の目論見書改訂において重要な事項に変更はありません。

「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

取引残高報告書について

今回、「2021年4月～6月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]		
(決算日)	取得単価	個別元本		

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成日（2021年6月30日）現在の基準価額です。
評価金額	作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。